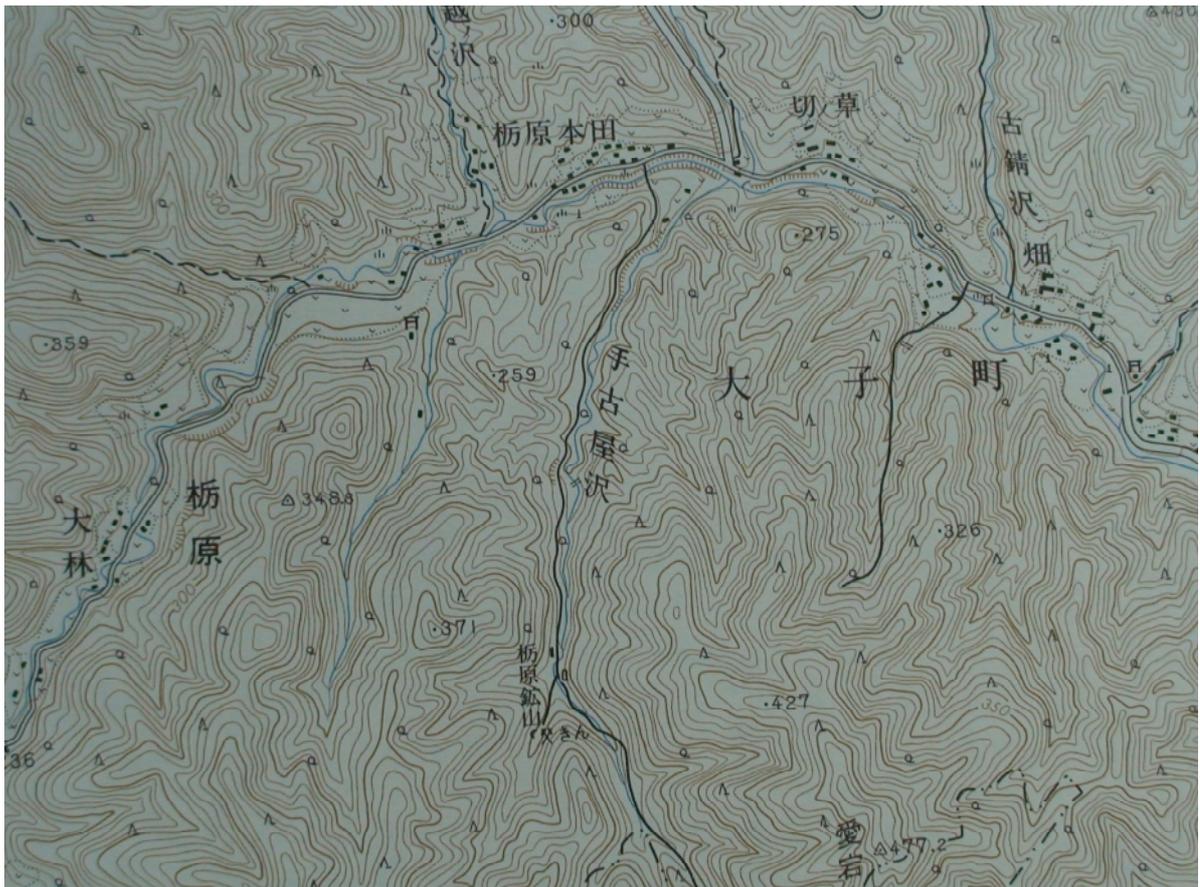


(27) 栃原金山(とちはら)跡

この金山の名前は学生からである。学生が小学生の時、金山跡に行き、砂の中から砂金を見つけるという遊びをしたことがあったそうである。調べてもらったら茨城県にある栃原金山であった。茨城県の水郡線の上小川駅を基準にすると、この西北西方向に32号線を5km~6km進むと栃原地区がある。栃原本田地区で大沢川に流れ込んでいる手古屋沢がある。この沢に沿って林道を約1km登っていくと、栃原金山跡がある。昨年度は道路に「栃原金山」の案内看板があった。看板があればそれを当てに出来よう。橋(写真)を渡って直ぐ左側に、広場に建物が建っている(撤去されていなければだが)。金山の操業を停止した後、しばらくの間は金山を観光施設として運営していた。その名残である。林道をまっすぐ進んでいくと途中右側斜面の上に、未だ鉱山の建物があるかも知れない。更に進んでいくとベルトコンベアのある鉱山施設の箇所にとどり着く(写真)。この付近に車を止めて、歩こう。廃ホッパー屋から旧トロッコ道が山側の斜面を平坦に上流へと延びている。今では、完全に草木で覆われてわからないかも知れない。廃ホッパー小屋を右に見て、林道を進む。林道は二股となっているが、右を進む。直ぐに開けた箇所にとどり着く。広場の右奥に、閉塞された坑口がある(写真)。栃原鉱山唯一の坑口である。

ズリらしい場所を見つけることは出来なかった。橋を渡ったところの左側の広い原っぱがズリ集積所であったような気がする。今では綺麗に整地された農地となっている。

参考文献(1)中では、3行だけの説明文しかない。小規模な金山だったようである。



地図 国土地理院地形図 2万5千分の1地形図「常陸大沢」

調査日 2008年10月

参考文献

(1)「日本地方鉱床誌 関東地方」、今井、河井、宮沢編者、朝倉書店、1973年。

鉾山跡写真



採集鉾物写真

なし。ありふれた金銀鉾石は見栄えはさえない。